

「クールジャパン・マッチングアワード 2021」審査員

審査委員長



夏野 剛（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授）

総評

コロナ禍でインバウンド需要が途絶えた2020年であったが、それを克服するかのように、クールジャパンの力を大いに感じる事ができた一年でもあった。コロナ禍であるからこそその工夫、仕掛け、そして、新たに生み出された価値はコロナ収束後にさらに大きく展開する可能性を秘めている。未曾有のチャレンジなこの年にこれほどのクリエイティビティと揺るがぬクールジャパンのよさを体現してくれた受賞作品に大いなる敬意を表するとともに、クリエイターの栄誉を讃えさせていただきます。

審査員



生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト 株式会社アートダイナミクス 代表取締役）



梅澤 高明（A.T. カーニー日本法人 会長 / CIC Japan会長）



楠本 修二郎（カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長）



コチュ・オヤ（株式会社Oyraa 代表取締役社長）



ローレン・ローズ・コーカー（ZAIKO株式会社 取締役 COO）



玉沖 仁美（株式会社紡 代表取締役）

「クールジャパン・マッチングアワード 2021」アワード受賞の取組について

■グランプリ（1件）

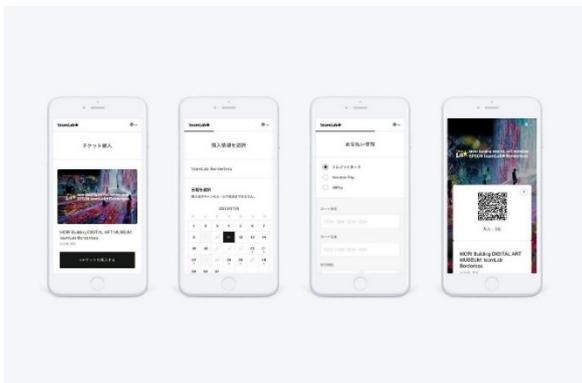
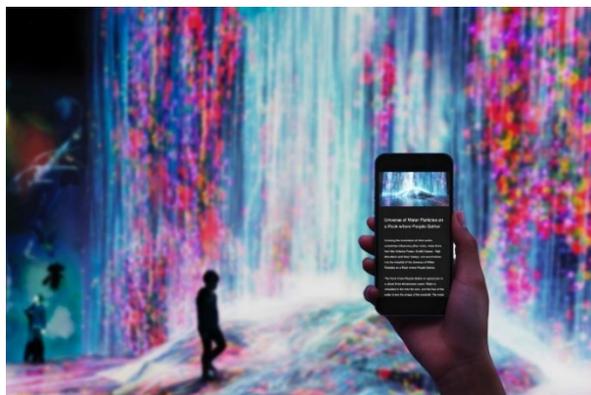
取組名：インバウンドに貢献、感染症対策の入場システムを導入

「森ビル デジタルアート ミュージアム：エプソン チームラボボーダレス」

分野：アートミュージアム×テクノロジー

受賞者：森ビル株式会社、チームラボ

連携先：エプソン販売株式会社、セイコーエプソン株式会社



概要：

首都・東京の魅力を高める街づくりを目指して、アート集団のチームラボと、都市再開発事業を手がける森ビルが共同で企画・運営する境界のないアート群による「地図のないミュージアム」。約 500 台ものエプソンのプロジェクターで空間全体を覆いつくす演出により作品の世界観を表現。オープン 1 周年の 2019 年 6 月には、世界 160 か国以上から約 230 万人の動員、訪日外国人割合約 50% を達成した。2020 年には感染症対策のためチームラボが開発したチケットシステムとガイドアプリを導入し、非接触型の体験を実現した。

贈賞コメント：

クールジャパン官民連携プラットフォーム共同代表/クールジャパン戦略担当大臣 井上 信治

チームラボ ボーダレスは、光や音、そしてテクノロジーを用いてこれまでにない世界を表現したアート作品群だと承知しています。まさにアートとテクノロジーの掛け合わせによる画期的な取組だと思います。

この取組は、その美しさから、実際にアート作品群を訪れた人々によって SNS で評判が広がり、多くの人々の関心を呼んでいます。このアート作品群を実際に見ることを目的に来日した外国人観光客も多くいたと伺っており、インバウンド観光にも繋がる新しい日本の魅力を伝える取組であると感じさせます。

また、このコロナ禍において、来場者が安心して作品を楽しむことができるように独自の感染症対策の下で会場運営が行われたことも評価されました。

今後とも、日本人自身にも日本の魅力を伝えつつ、新たな魅力を世界に向けて発信し続けていただく

ことを期待しております。

審査員コメント：夏野 剛（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授）

クールジャパンの常連チームラボのこれまでの活動の集大成とも言える、驚きと感動が入り混じったデジタルアートの世界。世界からの注目も高く、このために来日を願うインバウンド需要も掻き立てた。残念ながら2020年はコロナ禍で来場者数を制限せざるを得なかったが、感染予防も工夫し、安全に来場者を迎えたことも大いに評価に値する。

受賞者コメント：チームラボ

ビルデジタルアートミュージアム「エプソン チームラボボーダレス」では、全ての作品が境界なく連続的につながっている1つの世界を創りました。

名誉ある賞をいただき、とても光栄に思っています。これからも応援よろしく願いいたします。

受賞者コメント：森ビル株式会社

名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。東京の新たなデスティネーションとすべく、ここでしか得られない体験や、身体ごと没入するアート空間を追求して参りました。引き続き、国際都市・東京の磁気向上に貢献してまいります。

連携先コメント：エプソン販売株式会社、セイコーエプソン株式会社

この度は、このような名誉ある賞を森ビル様、チームラボ様と一緒に受賞させていただけたこと、大変光栄に存じます。今後もエプソンプロジェクターの技術や映像表現を通して、国内外のより多くの方々に、期待を超えるような驚きと感動の体験をお届けすべく尽力して参ります。

■準グランプリ（1件）

取組名：ドイツ発、海外のプロ向け日本料理アカデミー 「Master of Japanese Cuisine Academy」

分野：料理×オンライン教育

受賞者：GoldenTable GmbH

連携先：一般財団法人 日本のこころ Soul of Japan、全農インターナショナル欧州株式会社、株式会社 枕崎フランス鰹節



概要：

世界的に日本食レストランが急増する一方、外国人料理人がその基礎を学ぶ機会は限られているため、2019年にドイツから世界に向けたオンラインアカデミー事業を開始。プロの料理人によるプロむけの本格的な「日本料理オンライン講座」は世界初で、これまでに受講された講座数は1万を超えた。2020年秋には全農インターナショナル欧州と連携した和牛講座を開講、2021年には枕崎フランス鰹節との連携も予定している。日本食関連の国内外の人材と情報を繋ぐ、インターナショナルプラットフォームを目指す。

審査員コメント：楠本 修二郎（カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長）

現地発想だからこそその解像度の高い、かつ長期的な視点にたった日本食プロ養成コースのニーズに対して、このコロナ禍の環境をむしろ好機として捉え、一気に進められた行動力と、ソウルオブジャパンをはじめとする「ALL JAPAN」チーム編成へのご尽力には、とても頭が下がる思いです。

受賞者コメント：GoldenTable GmbH

事業としてはまだまだですが、沢山の方のお力添えでここまでになりました。

賞を頂きありがとうございます。日本の食や文化などを世界に広めていくために、同じころざしの多くの方々と一緒に、これからも尽力していきたいと思っております。

連携先コメント：一般財団法人 日本のこころ Soul of Japan

日本の食文化を世界に発信することを目的とする当財団は、和海さん達の日本食の技術と文化を世界の料理人に広める活動に大いに共感し、アカデミー設立当初から応援してきました。これからも料理人や関連企業の紹介などを通じて支援を続け、世界に名だたる日本料理アカデミーになって欲しいと期待しています。

■奨励賞（3件）

取組名：日本発、現代アートのグローバルプラットフォーム「TRiCERA.NET」

分野：アート×全世界向けEC

受賞者：株式会社 TRiCERA

連携先：大日本印刷株式会社・株式会社DNPアートコミュニケーションズ、
Shinwa Auction 株式会社、スタートバーン株式会社



DNP 大日本印刷の技術을駆使した高精細プリント作品



概要：

アーティストが国境を越えて作品を発表・販売できるオンラインプラットフォーム。7言語に対応した翻訳、決済機能、配送システムを備えている。日本人をはじめ2,400名以上のアーティストが参加し、総出品数は17,000点を超え、米国やアジアをはじめ世界120か国からアクセスを得ている。連携先と、オンラインオークションや、真贋証明、高精細プリントの販売を行っている。

審査員コメント：コチュ・オヤ（株式会社 Oyraa 代表取締役社長）

アートには国境も言葉の壁もない。アートはそのまま心に届くべきものであるのに、アートに簡単にアクセスできる方法がなぜか今までありませんでした。世の中のアーティストとアートを愛する人々を繋ぐTriceraは世界を舞台にする素晴らしいプラットフォームです。日本の素敵なアートも色んな国に届いて、人々の心を動かして欲しいです！ご受賞おめでとうございます。今後、さらなる発展を祈念いたします。

受賞者コメント：株式会社 TRiCERA

弊社 TRiCERA 及び連携先企業が奨励賞を受賞いただけましたこと心から光栄に思います。審査委員会の皆様や海外の審査員の方々に弊社の取り組みを評価いただき身が引き締まる思いしております。「創造力に国境なんてない」を理念に日本を中心とする世界中のアーティストの支援に今後も連携先企業様とも協力してまいります。

連携先コメント：大日本印刷株式会社・株式会社DNPアートコミュニケーションズ

TRiCERA社が運用するアート専門のECサイト「TRiCERA.NET」に参加するアーティストの作品を対象に、高精細な画像処理とプリンターによって高精細出力を行う「プリモアート」を用いてプリント作品を制作し、「TRiCERA.NET」で世界に販売することは、若手アーティストの発掘・育成を目的とした文化貢献活動を支援することになり、大変有意義であり奨励賞を受賞できたことは大変喜ばしいです。

取組名：キュレーター厳選の音楽を全世界配信「FRIENDSHIP.」

分野：音楽配信×キュレーター

受賞者：株式会社ヒップランドミュージックコーポレーション

連携先：FRIENDSHIP. キュレーターチーム



概要：

配信によって世界展開が可能になった日本人アーティストの音楽を、文化の先端にいるキュレーターが選定し、サポートするサービス。2019年5月にスタートし、2020年には、開催予定だった米国音楽フェスティバルSXSW Music Festivalでの日本の音楽のショウケースが中止になるなど、コロナ禍によって海外ライブの開催が困難になる中、世界的な音楽配信サービスを通じて日本の音楽のファンを開拓するプロモーションを187か国で行っている。

審査員コメント：ローレン・ローズ・コーカー（ZAIKO 株式会社 取締役 COO）

FRIENDSHIP. のプロジェクトをとっても尊敬しています。なぜなら、海外で人気が出た日本人のアーティストがインディペンデントで活動し続けるためには、「音楽デジタルディストリビューション」や「グローバル展開」をサポートし、共に育てることが今の日本の音楽業界にとって、とても重要な活動だと信じているからです。

受賞者コメント：株式会社ヒップランドミュージックコーポレーション

FRIENDSHIP. は音楽コンテンツをデジタルディストリビューションするサービスですが、文化の先端にいるキュレーターと連携する事により、数多くの日本人アーティストの素晴らしい作品を、世界のリスナーの元へダイレクトに届けることが出来ました。

これからも信念を持って、クールジャパンに相応しいコンテンツをグローバルに広げるサポートが出来るよう精進してまいります。

連携先コメント：FRIENDSHIP. キュレーターチームのキュレーター 代表 タイラ ダイスケ

デジタルプラットフォームの充実により、日本のアーティストがグローバルに活動できるチャンスは年々広がっています。しかし、その為には当然しっかりとクリエイティブクオリティーとマーケティングサポートが必要不可欠です。これからも音楽シーンに多方面から接しているキュレーターがFRIENDSHIP. と協力し、デジタルの観点からより多くの才能溢れるアーティストが世界に飛び立つサポートをしていきたいと思っています。

取組名：世界 50 か国で話題、モデルとして活躍する日本初バーチャルヒューマン「imma」

分野：バーチャルヒューマン×社会活動支援

受賞者：株式会社 Aww

連携先：株式会社 value



概要：

動きや表情をスーパーフォトリアルに表現された3DCGのバーチャルヒューマンとして誕生した「imma」は、デビュー以来バーチャルファッションモデルとして人気を得て、2021年2月にInstagramアカウントのフォロワー数が33万人を突破。ファッション誌の表紙グラビアや自動車、化粧品のキャンペーン、中国のTVCMなどに起用され、2020年Forbes Womanの「Woman of the Year 2020」に選出。今回の受賞取組ではコロナ禍で越境が制限される中、バーチャルである利点を生かしてカンボジアの女性支援活動家を訪問した社会活動を行った。

審査員コメント：生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト 株式会社アートダイナミクス 代表取締役）

ファッション界の最先端のアイコンが、日本から誕生しました。

ヴァーチャルヒューマンのモデルとして世界 50 か国、グローバルに活躍する imma は、モードとストリートを掛け合わせて発信する、まさに未来のクールジャパンミューズそのものです！ファッション界のデジタルトランスフォーメーションのロールモデルとして、ご受賞おめでとうございます。益々のご活躍を楽しみにしています！

受賞者コメント：株式会社 Aww

バーチャルヒューマン「imma」の「コロナ禍という時こそ、自分にしかできないアクションをしたい」という想いを背景に、Social Match さんのカンボジア社会企業家支援に関わる知見をお借りし提案させていただきました。弊社の特性を生かしたこのような活動が、ご評価いただけたことを光栄に思います。

連携先コメント：株式会社 value

今回の取り組みのように国境を超えて両者が連携することにより、日本の魅力や強みが、世界の社会問題解決に生かせると信じています。

これからも日本と海外を繋ぎ、それぞれの強みと魅力を最大限生かせるようなマッチング支援を行い、誰もが笑顔で暮らせる世界をつくるべく励んでまいります。

■特別賞（3件）

取組名：公共空間でのロボット実証、感染症対策に活躍「Haneda Robotics Lab」

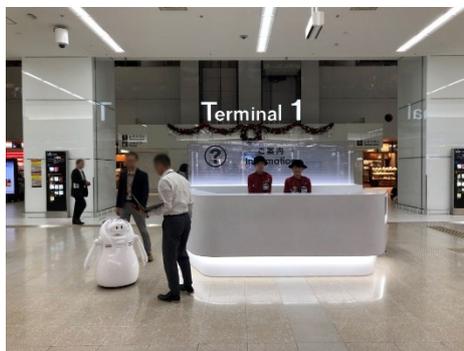
分野：空港×ロボット

受賞者：日本空港ビルデング株式会社

連携先：WHILL 株式会社、CYBERDYNE 株式会社、株式会社インディ・アソシエイツ、
ドーナツロボット株式会社



C-FACE
by SHISEIDO



概要：

空港というリアルな場でロボット技術を実証し、社会実装していくために2016年に始動したプロジェクトによって、2020年には感染症対策の自動運転車椅子、除菌、遠隔案内の3種のロボットを導入。8か国語翻訳機能を持つマスクを共同開発し、2020年12月から空港における実証実験を開始した。

審査員コメント：玉沖 仁美（株式会社紡 代表取締役）

空港という世界中のお客様をお向かえる玄関口で、このような取り組みが始まったことを誇りに思います。子供達にも夢や楽しさを伝える活動にもつながると楽しみにしています。

現在の環境における機能面に加えて、旅の楽しさを、より味わわせてくれるものだと感じました。今後のより一層のご発展を期待しています。

受賞者コメント：日本空港ビルデング株式会社

この度は Haneda Robotics Lab の取り組みに対して特別賞を頂きましたこと、大変光栄なことであり御礼申し上げます。

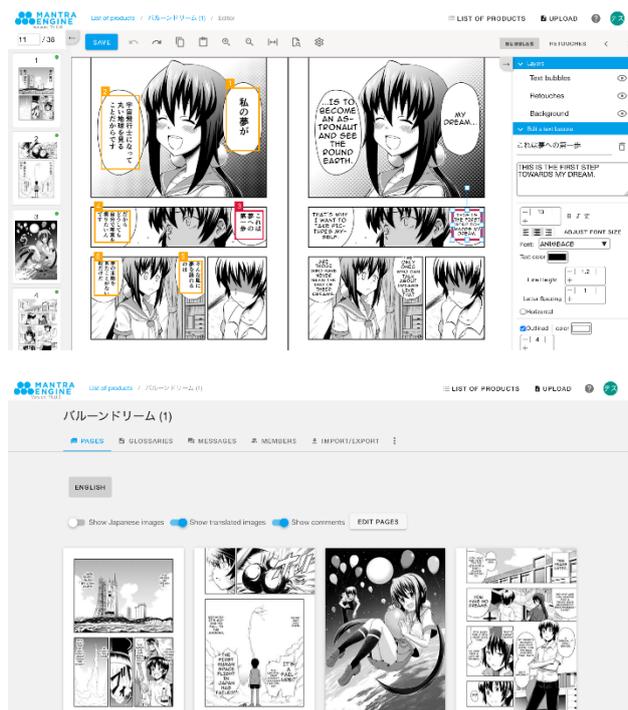
弊社は2016年より羽田空港を舞台に日本のロボット技術等の普及、及び世界への情報発信に取り組んでまいりました。コロナ禍においては、連携先のメーカーとともに環境変化に対して日本人らしい応用力や発想の転換で既存のロボットをいち早く開発及び導入をすることで、安心・安全・便利なターミナルビル運営を追求してまいりました。「世界で最も選ばれる空港」を目指す弊社としましては、羽田の場で起きるこのイノベーションこそが社会に対する価値創造であると考えております。引き続きロボットをはじめ、日本の魅力を羽田の場から世界に向けて発信しつつクールジャパンの活動にも貢献していく所存です。

取組名：日本独自の表現の多言語化技術の開発「Mantra Engine」

分野：マンガ×機械翻訳

受賞者：Mantra 株式会社

連携先：株式会社 Gaudiy



概要：

海外では人気だが、翻訳が難しい日本のマンガの海外展開を支援する技術。吹き出しを自動で検出し、その中のテキストを機械翻訳する。マンガに特化した独自の機械翻訳エンジンにより、砕けた口語表現も自然に翻訳可能。ブラウザで動作するクラウドサービスにより、翻訳、組版、校正校閲といった作業を効率化。英語、中国語からスタートし、多言語への展開を予定。

審査員コメント：夏野 剛（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授）

マンガの翻訳というのは、吹き出しの中の文字だけではなく、画の中に紛れ込んでいる効果文字も含めて認識し、翻訳しなければならない。技術的に言えば、画の中からの自動抽出と適正翻訳の同時達成が求められる。これを実現した MANTRA は、今後 MANGA がさらに世界に普及する強力なツールとなるだろう。

受賞者コメント：Mantra 株式会社

この度はこのような名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。マンガの多言語同時配信が少しずつ一般的になる中で、マンガ翻訳ツールである「Mantra Engine」が日本の素晴らしい作品を世界中に展開していく助けになればとても嬉しいです。今後も、私たちは全力でマンガの可能性を広げる AI 技術の研究や、サービス開発に取り組んで参ります。

連携先コメント：株式会社 Gaudiy

「Mantra Engine」のクールジャパン・マッチングアワード受賞、誠にありがとうございます。また、ありがとうございます。マンガの翻訳を大幅に効率化するこの技術は、日本の素晴らしいコンテンツを海外へ届けるために必要不可欠なものになると感じています。今後は、Mantra の AI 翻訳と弊社の手掛けるコミュニティサービスとを連携させることで、コンテンツの海外展開をさらに加速していけると確信しております。

取組名：4月の開催をリモートにしたダンスミュージックフェスの新たなスタイル
「Rainbow Disco Club “somewhere under the rainbow!”」

分野：音楽フェス×世界向け有料配信

受賞者：株式会社ユナイテッドワークス

連携先：株式会社リアルロックデザイン



概要：

2010年から開催され、2020年には4月に予定していたフェスの集客を中止し、11組のアーティストの無観客ライブを収録、12時間ノンストップの配信を開催予定日に行った。全世界に発売したチケットの購入者が、一方通行の配信ではなく、観客同士で交流できるダンスフロアに入場する、新たなスタイルのフェスを実現した。

審査員コメント：梅澤 高明 (A.T. カーニー日本法人 会長 / CIC Japan 会長)

東伊豆で開催されてきたダンスミュージックフェス。小規模ながら本物志向で、世界的な音楽情報サイトで「世界トップ10フェスティバル」に選出されるなど評価も高い。昨年はコロナ禍が本格化した4月、いち早くオンラインシフト。Stay Homeする世界の音楽ファンに、12時間ノンストップの高品質の音楽イベントを届ける。世界へ配信する有料課金イベントとして初期の成功例となった。

受賞者コメント：株式会社ユナイテッドワークス

こんな素晴らしい賞を受賞できると思っていなかったのですがただただ嬉しい。中止という厳しい状況から始まったこの配信は、とてもいい経験となり、素晴らしい思い出を残してくれました。インターネットの向こう側にいる人々にどうやったら我々の思いが届くのか、限られた時間の中で必死に試行錯誤して完成した作品です。いつかまたやれたらいいな。

連携先コメント：株式会社リアルロックデザイン

配信だからこその表現は何か？ REALROCKDESIGNは、ARの世界を音楽フェスに実装し、フィジカルの世界では不可能な表現に挑みました。その空間で、デジタルならではのコミュニケーションが生まれたこと、画面の向こうで楽しんでいる人たちがいたことを思い返すと、また胸が熱くなります。このような賞をいただき大変光栄です。ありがとうございました。

【報道機関の取材申込・資料提供・お問合せ先】

クールジャパン・マッチングアワード2021事務局（業務委託：株式会社ヒューマンメディア内）

担当：小野打（おのうち）、長谷川（はせがわ）

TEL：03-5544-9713

FAX：03-5544-9714

E-mail：info@cjma.go.jp